

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR A作業班（第12回）議事要旨（案）

日時：平成30年8月22日（水） 13:00～14:30

場所：中央合同庁舎第2号館 8階 第一特別会議室

出席者（敬称略）：

（構成員）

主任	田島 公博	NTT アドバンステクノロジー(株)グローバル事業本部環境ビジネスユニット EMC センタ リーダ（主席技師）
主任代理	石上 忍	(国研)情報通信研究機構 協力研究員(東北学院大学工学部電子工学科 教授)
構成員	雨宮 不二雄	NTT アドバンステクノロジー(株)グローバル事業本部環境ビジネスユニット EMC センタ
	今村 浩一郎	日本放送協会 放送技術研究所伝送システム研究部
	大西 輝夫	(株)NTT ドコモ 先進技術研究所 主任研究員
	橘高 大造	(一社)電波産業会 研究開発本部電磁環境グループ
	篠塚 隆	(国研)情報通信研究機構 電磁波計測研究所電磁環境研究室 協力研究員
	登坂 俊英	(一財)電気安全環境研究所 横浜事業所 EMC 試験センター
	中村 哲也	(社)ビジネス機械・情報システム産業協会 電磁環境専門委員会 委員
	藤井 勝巳	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所電磁環境研究室 研究マネージャー
	星 綾太郎	(一財)VCCI 協会 技術専門委員会 委員
	三塚 展幸	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 松戸試験所電磁環境・較正事業本部電磁環境試験部 主任技師
	宮田 邦行	(一社)電子情報技術産業協会 マルチメディア EMC 専門委員会 委員

（事務局）

谷口 智哉	総務省	総合通信基盤局	電波部	電波環境課	電波監視官
戸部 絢一郎	総務省	総合通信基盤局	電波部	電波環境課	電磁障害係長

【配布資料】

資料 12-0	議事次第
資料 12-1-1	CISPR A作業班（第11回）議事概要(案)
資料 12-1-2	CISPR A作業班（第12回）議事概要(案)
資料 12-2-1	CISPR 釜山会議 A小委員会 対処方針(案)
資料 12-2-2	CISPR 釜山会議 A小委員会 第1作業班(WG1) 対処方針(案)
資料 12-2-3	CISPR 釜山会議 A小委員会 第2作業班(WG2) 対処方針(案)
資料 12-2-4	CISPR 釜山会議 A小委員会 合同第6作業班(JWG6) 対処方針(案)
資料 12-3-1	電波利用環境委員会報告概要(案)（A小委員会関連）
資料 12-3-2	電波利用環境委員会報告(案)（A小委員会関連）

議論

(0) はじめに

- 事務局から配付資料 10 点についての確認（事務局）

(1) 前回議事要旨（案）について

- 資料 12-1-1、12-1-2 の前々回、前回議事要旨（案）についての説明（事務局）
※修正意見等あれば 8 月 29 日（水）までに事務局まで連絡することで承認された

(2) CISPR 釜山会議 対処方針（案）について

<資料説明>

- 資料 12-2-1 CISPR 釜山会議 A 小委員会 対処方針（案）についての説明（田島主任）
 - 審議項目 1～6. 4 までの説明は割愛する
 - 審議項目 6. 5. 1 について、IS 発行を確認する
 - 審議項目 6. 5. 2 について、IS 発行を確認する
 - 審議項目 6. 5. 3 について、IS 発行を確認する
 - 審議項目 7 について、日本からも提案内容があれば、今後でドキュメントを作成する
- 資料 12-2-2 CISPR 釜山会議 A 小委員会 第 1 作業班(WG1) 対処方針（案）についての説明（石上主任代理）
 - 審議項目 1～5 までの説明は割愛する
 - 審議項目 6. 1 について、CDV（日本は既にコメントと賛成投票を実施済）に関する審議が行われる状況をみて対処する（事前に RVC が出る可能性もある）
 - 審議項目 6. 2 について、1stCD に対する各国のコメント（日本は賛成を表明）が審議される状況をみて対処する
 - 審議項目 6. 3 について、FDIS の発行されており、精査後に対応を検討する。
 - 審議項目 6. 4 について、CDV（日本は既にコメントを実施済）に関する審議が行われる状況をみて対処する
 - 審議項目 6. 5 について、1stCD に対する各国のコメント（日本は賛成を表明）が審議される状況をみて対処する
 - 審議項目 6. 6 について、1stCD に対する日本のコメントについて再度説明を実施する
 - 審議項目 6. 7 について、1st、2ndCD で日本のコメントは反映されており、現在 3rdCD の発行を待っている状況である
 - 審議項目 7. 1、7. 2、7. 3 の Action Item については、今後関連する文書を精査し、対応を検討する
 - 審議項目 7. 6 について、40GHz までの妨害波許容値の導入（日本は反対を表明）の作業を、今後田島主任、石上主任代理にて支援する
 - 審議項目 10. 1～10. 4 について、その他の提案の Action Item であるそれぞれ状況をみて対処する

<質疑>

- 可能な限り、事前に把握可能な情報を精査の上、どのような対処方針を取るか明確にしたうえで会議に参加してほしい(事務局)
- 日本として、提案事項があれば、メール等を用いて議論し、事前にその内容を教えてほしい(事務局)
- ツーアンテナ法に対する技術的な反論となるデータについて提案をしたいと考えている(藤井)
 - データを揃えてメール審議できるように準備する(藤井構成員)
- ラージループのシールドルームについて、根拠となるシュミレーションデータを用意したいと考えている(藤井構成員)
- WG1 審議事項 6. 5について、30 MHz 未満という表現があるが、厳密には 30 MHz 「以下」ということでなければ実用的ではない(中村)
 - 30 MHz 以下であることを確認する(石上主任代理)

<資料説明>

- 資料 12-2-3 CISPR 釜山会議 A小委員会 第2作業班(WG2) 対処方針(案) についての説明(田島主任)
 - 審議項目 1~4 までの説明は割愛する
 - 審議項目 5. 1について、前回会合で出たコメントを考慮した形で FDIS が出ることになるため、内容を確認した上で、日本の意見も表明できるよう準備する
 - 審議項目 5. 2について、CD が出ており、各国コメントの集約がなされている
日本として対応が必要なコメントに対して準備する
 - 審議項目 5. 3~5. 7について、FDIS の投票が行われており、その報告がなされる
 - その他、ジョイントワーキンググループ5にて中規模サイズの EUT の規定について議論がされる
 - 審議項目 6~7について、状況報告内容を確認する

<質疑>

- ジョイントワーキンググループ5における議論の対処方針も明確にして、記載をしてほしい(事務局)
 - 記載する(田島主任)

<資料説明>

- 資料 12-2-1 CISPR 釜山会議 A小委員会 対処方針(案) についての説明(田島主任)
 - 審議項目 10 以降は、資料に記載の通りの対処方針である(内容確認が主である)
- 資料 12-2-4 CISPR 釜山会議 A小委員会 合同第6作業班(JWG6) 対処方針(案) についての説明(田島主任)
 - EUT ケーブルアレンジメントについて、前回会合で今後の審議テーマとなり、CISPR/A として

は、アドホックグループ6として今会合より議論がスタートする

- 前回会合からのアクション項目の確認や CISPR16 改訂文書へのコメント等の審議がなされる
- 審議項目 6. 1 について、RRT が日本提案の VHF-LISN を採用する方向で実施されるようコメントを行う

<質疑>

- これまでの経緯を踏まえ、アドホックグループ6には最大限協力したい(雨宮構成員)
- テムセルと反射箱について、試験法としてどの程度オルタナティブなものになりそうか(雨宮構成員)
 - テムセルがオルタナティブに用いられるかは製品委員会の判断によるが、審議は進んでおり、改定される見込である(石上主任代理)
 - 一方、反射箱はオルタナティブであるというには難しいと考えている
また、議論が紛糾しており、改定がされる見込みは低い(石上主任代理)

(3) 電波利用環境委員会 報告書(案) について

<資料説明>

- 資料 12-3-1 電波利用環境委員会報告概要(案) (A小委員会関連) についての説明(田島主任)
 - 30MHz 以下の周波数帯における新しい測定法の審議状況について、トピックとして取り上げる
 - CISPR16-1-4、16-1-6、16-2-3 における、これまでの審議状況と釜山会議での対処方針について説明する
- 資料 12-3-2 電波利用環境委員会報告(案) (A小委員会関連) についての説明(田島主任)
 - 30MHz 以下の周波数帯における放射妨害波測定について、これまでの審議状況と CISPR16-1-4、16-1-6、16-2-3 における対処方針について説明する
 - LLAS の不確かさと EUT の測定法のこれまでの審議状況と、対処方針について説明する
- 必要な修正を経て9月18日の電波利用委員会に提出をする(田島主任)

<質疑>

- 資料 12-3-1 の「3) 今までの審議状況」パートについて、これまでの議論で日本が大きな貢献をしてきたという事を明記したほうがよい(篠塚構成員)
 - 修正を行う(田島主任)

(4) CISPR 釜山会議 参加者(案) について

- 参加者は、田島、石上、雨宮、長部、島先、三塚、峯松の7名である(田島主任)
 - 他に参加意向の方は、後程、田島主任、事務局に連絡をしてほしい(田島主任)
- WG1 のタイムドメイン測定法における、エキスパートの派遣については状況を確認している
必要であれば、田島主任で対応を検討する(田島主任)

<質疑>

- 参加者の7名は、各審議へ全員出席するのか(事務局)

- 他の会議と重なって、出られない場合もある
それぞれ予定を確認しているので、後程整理して事務局に共有する(田島主任)
- 参加者リストの作成は事務局で行うのか(雨宮構成員)
 - 昨年同様事務局で作成する(事務局)
- 総務省で行う釜山会議における出席のアプローチを実施してほしい(雨宮構成員)
 - 参加者が確定後にまとめてアプローチを実施する予定である(事務局)

(5) その他

- 今後の予定としては、9月18日の電波利用環境委員会での審議がある(事務局)
- 次回会合は、事務局から構成員にメールにて連絡する(事務局)

以上